

A-STEP 機能検証フェーズ
課題提案書様式の留意事項

A-STEP 機能検証フェーズの課題提案書様式の記載において、特に注意していただきたい点をまとめております。ご確認の上で提案書の作成をお願いいたします。

<試験研究タイプ第2回提案書様式のみ>

(様式1:基本情報)

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム
機能検証フェーズ 試験研究タイプ 第2回
課題提案書

研究開発課題名	試験研究タイプ第2回公募の課題提案書様式です。 公募期間は、7月11日～9月11日正午です。
研究開発期間 (注1)	<input type="checkbox"/> 平成30年12月20日～平成31/2019年12月31日(1年)。 <input type="checkbox"/> 平成30年12月20日～平成32/2020年3月31日(1年3ヶ月)※。 ※期間延長申請(別紙2)必須。
分野	※e-Radの研究分野(主)で指定した分野を記載してください。

黄色の注意書きは削除し、研究
開発課題名を記載してください

<分野、研究の内容>

分野	※e-Radの研究分野(主)で指定した分野を記載してください。
研究の内容	※e-Radの研究分野(主)で指定した研究の内容を記載してください。
キーワード	※e-Radの研究分野(主)で記入したキーワードを記載してください。

e-Rad システムにログイン後に、右上「Sitemap」をご覧ください一番下の「研究分野一覧 (Excel ファイル)」をダウンロードいただくと、事前に分野、研究の内容を確認できます。

(5)申請課題の独創性（新規性）および技術の優位性

本項目は、既存技術や競合技術と、本提案で1年後に確立を目指す技術、将来的に確立を目指す技術との比較を記載いただきます。比較項目は、数値データだけでなく定性的なものも含めていただいても結構です。

<記入例>

比較項目	本研究開発 期間終了後 の技術(1年 後)	将来的に 確立を目 指す技術	既存技術 A	既存技術 B	競合技術 C
①質量	・・・g	・・・g	・・・g	・・・g	・・・g
②●●率	・・・%	・・・%	・・・%	・・・%	・・・%
③耐久性	○	◎	○	△	×
④安全性	△	○	×	○	△

<比較項目の説明文>

- ①
- ②
- ③
- ④

3 研究開発目標と研究開発内容

(1) 研究開発目標

(2) 研究開発内容・実施スケジュール等

こちらの項目では、(1) に本提案の研究開発目標を、(2) に実際に取り組む研究開発内容と実施スケジュールを記載頂きます。

3 研究開発目標と研究開発内容
 研究開発期間(原則、1年間)で達成しようとする研究開発目標及び内容について記載してください。
 ※(1)~(2)までで4ページ(A4)程度にまとめてください。
(1) 研究開発目標

(注)
 ※ 研究代表者が記載してください。
 ※ 企業が抱える技術的課題の解決の可能性が判断できる事項を明示した目標を設定し、記載してください。このとき、評価解析すべき実験データの概要を定量的な数値(実験データ)、満たすべき性能(機能、精度、信頼性など具体的に)をあわせて示してください。
 ※ 研究開発期間を通じて確保すべきと考える知的財産権、ノウハウ等の精想を記載してください。

研究開発目標のみ記載

(2)研究開発内容・実施スケジュール等

(注)
 ※ 研究代表者が記載してください。
 ※ (1)の研究開発目標達成のための、実施項目ごとの具体的な数値等の目標、実施スケジュール等を記載してください。
 ※ 線表の横幅は適宜変更して構いません。
 ※ 申請課題で実施する研究開発内容を、目標達成のための問題点とその解決策に言及しつつ実施項目ごとに記載してください。
 ※ 問題点に関しては、解決できなかった場合に目標の達成が左右されることになるポイントを抽出して記載してください。
 ※ 解決策は、その方法により目標が達成できることが理解できるよう、現状と目標を対比して記載してください。
 ※ 他の大学等、企業等が参画し、共同研究を行う場合は共同研究者の役割等について記載してください。

実施項目・マイルストーン	数値目標等	実施機関	H30 年度	H31/2019 年度
(1) ○○○○○○ ・ △△△の収集 ・ ×××の確立 ・ ○○解析			←→	
(2) ●●●●●● ・ ●●●の確立 ・ ××× ・ △確認				←→
(3) □□□□□□ ・ □□□の確立 ・ ×●□の確立 ・ 解析				←→

実施スケジュールを記載

実施項目ごとの研究開発内容を詳細に記載
 (具体的な調査・開発・実験方法や、想定される問題点・その解決策について。また例えば、高額の設定備品を購入する場合には、その必要性が分かるよう、研究計画内での用途を記載する等)

- 1) 実施項目(1) ○○○○○○
実施期間:○年○月~○月
- 2) 実施項目(2) ●●●●●●
実施期間:○年○月~○月
- 3) 実施項目(3) □□□□□□
実施期間:○年○月~○月

5 研究開発費

(1) 委託研究開発費 (JST 支出分) の合計 (単位: 千円)

(2) 委託研究開発費 (JST 支出分) の機関毎の内訳

(1) は提案全体の研究開発費の内訳を記載いただき、(2) は機関毎の費目別の具体的な用途を記載頂きます。**(2) の費用の用途は、研究開発計画の妥当性を審査する上で重要な項目ですので、必ず記載をお願いいたします。研究開発機関が1機関だけの場合も(2)を省略しないでください。**

5 研究開発費

(1) 委託研究開発費(JST 支出分)の合計 (単位: 千円)※上限 300万円

項目	平成 30 年度	平成 31/2019 年 度	合計
I 物品費			
II 旅費			
III 人件費・謝金			
IV その他			
直接経費(I~IV)小計			
間接経費			
合計			

共同研究開発機関の有無に関わらず記載必須

(2) 委託研究開発費(JST 支出分)の機関毎の内訳

【機関名: 】

費目	金額 (千円)		主な用途
	平成 31/2019 年 度		
物品費(設備備品 費)	0,000	0,000	
物品費(消耗品費)	0,000	0,000	
直 接 経 費	0,000	0,000	
旅費	0,000	0,000	
人件費・謝金	0,000	0,000	
その他	0,000	0,000	
小計	0,000	0,000	---
間接経費(●%)	0,000	0,000	---
合計	0,000	0,000	---

費目ごとの具体的な用途を記載